



**報告会が始まります!!!**

**多職種の職員が集まりました。**

■2024. 6. 11

令和6年1月1日能登半島地震の発災以後、1月2日から2月末までに当院はDMAT(災害派遣医療チーム)3隊・薬剤師1名・災害支援看護師5名が被災地支援に行ってきました。

救急科統括部長太平医師主導で、その報告会が先日行われました。

【いずれ来る南海トラフ地震】を潜在的に気にしているのか、今回私は「被災者意識」を高くして報告会に参加しました。

- \* 新病院は免震構造⇒しかし、何らかの原因で患者さんの転院もあるか
- \* 支援にみえた方々はまず情報収集⇒的確で最新な情報提供の仕方にはどんなものがあるのか
- \* 自病院が被災しても…⇒自病院のことだけではなく、地域社会のヘルスケアを保っていける方策までも考えていかないと……  
院内の患者さんの事・避難所の方々の事  
平時の日常からの関りが重要か
- \* 被災者・職員・支援者のメンタル面の予防とケア

等々

改めて、地震をはじめ火災や風水害での病院のBCP(病院機能存続計画)の発信や、過去に学ぶ災害医療の教訓を再学習しようと思いました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。